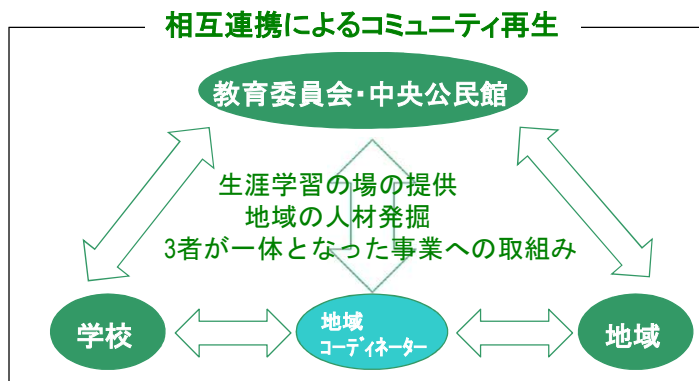


～学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の取組事例～

大船渡市教育委員会

取組の基本理念



事業概要

【現状】

- ・東日本大震災で被災したことにより、地域住民の間で交流する機会が減少し、仮設住宅等で孤立化する高齢者等、心に不安を抱える市民が多い。また、公民館等の社会教育施設が被災したことにより、生涯学習の場が不足している。
 - ・震災以降、学校現場では、多くの支援による寄贈図書が寄せられていたが、これを受付け登録、整理することは大きな負担となっていた。また、読書活動等を通じた子どもたちの心のケアが必要である。
 - ・震災後、歩道や街路灯の損壊、工事関係車両の増加、通学環境の悪化、通学路の変更等により、登下校時の安全を確保する必要がある。
- 上記の点を解決すべく以下の事業を進めるに至った。

I : 教育振興運動事業

II : 学校支援地域本部事業

取組の概要

【教育振興運動事業】

・生きがいセミナー

高齢者を対象に、多岐にわたる分野の教養学習やクラブ活動を実施



ニュースポーツ教室



料理講習会



学習会

・乳幼児学級

乳幼児期の子どもを持つ親を対象に、子育てや親同士の交流を重点とする学習を実施



手作りおもちゃ教室



救命救急講座



3B体操

【学校支援地域本部事業】

・スクールガード配置事業

市内小中学校13校にスクールガードを配置し、児童生徒の登下校時の安全を確保



登校風景



車での巡回型



校庭にある仮設住宅の住民と児童との交流の場にもなった